

# 日本労協新聞

## ICA・ワーカーズコープ

### アーステイ東京2024

3月11日～5月30日

会場:代々木公園、宮下公園、オンライン他

今年もワーカーズコープ連合会などが参加します!

# 3/25

(2024年)

## No.1344

発行所 日本労働者協同組合連合会 (JWCU)  
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目44-3 池袋ISPタマビル7階  
 ☎03(6907)8040 FAX 03(6907)8041  
 毎月 5日・15日・25日発行  
 会員外は1部165円 年5940円(送料7452円)  
 郵便振替 日本労協連機関紙誌部専用  
 東京 00170-8-186765

URL: https://jwc.u-coop/ E-mail: info@roukyou.gr.jp

(5) 2024年3月25日

### 日本労協新聞

(1982年7月28日 第3種郵便物認可)

第1344号



わらじの会の皆さん。右から、辻さん、藤原篤哉さんと大槻由佳さん(生活ホーム利用者)、吉田さん(同)

越谷市で生活ホーム(※家庭で日常生活を営むのに支障のある障害者のため



元旅館の建物を活用した「旭屋」

元旅館の建物を活用した「旭屋」

とまとめました。

労働者協同組合連合会(JWCU)のプロジェクト会議をオンラインで開催。55人が参加。埼玉県の「わらじの会」のメンバーを招いての学習会も行われました。(本紙 炭谷)

### WC連合会障がい者就労PJ会議

「住まい」から考える本人が願う暮らしを支える」と題して、「わらじの会」のみなさんを講師に学習会。

実践報告では、センター事業団西那須野地域福祉事業所(栃木県那須塩原市)の益子智子所長が、元旅館を活用した「旭屋」を紹介。

同谷津地福「ひだまり」(千葉県習志野市)の佐久間太さんは、相談支援事業について、「介護保険の通所介護、居宅介護支援の他に、8年前からこの事業を行っている。276歳まで103人の登録があり、ゴミ出しなどの生活に関する相談をはじめ、ヤングケアラーへの対応やアバター探しなど内容は実に多彩」と説明。

作業所利用者の困難事例に触れながら、「他法人の就労継続支援B型事業所を経験したことがあるが、利用者が、職員のことを『社員さん』と読んでいることに違和感を覚えた。働く場所は居場所でもあるはず。そんな、共に働く場をワーカーズコープだったら実現できるのでは」と話しました。

埼玉・わらじの会の実践に学ぶ  
 本人が願う、暮らしを支える住まいとは

「住まい」から考える本人が願う暮らしを支える」と題して、「わらじの会」のみなさんを講師に学習会。

「住まい」から考える本人が願う暮らしを支える」と題して、「わらじの会」のみなさんを講師に学習会。

「住まい」から考える本人が願う暮らしを支える」と題して、「わらじの会」のみなさんを講師に学習会。

「住まい」から考える本人が願う暮らしを支える」と題して、「わらじの会」のみなさんを講師に学習会。

「住まい」から考える本人が願う暮らしを支える」と題して、「わらじの会」のみなさんを講師に学習会。

「住まい」から考える本人が願う暮らしを支える」と題して、「わらじの会」のみなさんを講師に学習会。